

国語 十三—一	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「(」をつかっています。正しい場所にかぎ(「(」をかきましよう。

このお話は、手塚治の小さいころのできごとです。

「お母さん、頭あたまがいたいよ。」

「だいじょうぶ、きつとよくなるからね。」

お母かあさんは治おさむのまくらもとで、やさし

く声をかけました。

国語 十三—二	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(「」)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

取り組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

フローレンスは家に帰ると、お母さんにたずねました。

「キースさんは、なぜおこっていたのでしょうか。」

「そうね。どうしてかしらね。お母さんもわから

ないわ。」

お母さんは、答えました。

国語 十三—三	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

手てなかの中でこわがっているように見えるツユム

シはなに、アンリは話しかけました。

「ぼくとりおも、鳥だと思ったよ。おもしろい声こえで鳴くん

だね。」

アンリはツユムシもとくを、元もとの草くさむらにそつとはなしてやりました。



国語 十三―五	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
とり  
組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

ある日のこと(ひ)です。びよう気のおじい(き)さんがひとりですんでいる家(いえ)に、行くことになりました。

「こんにちは。キースさん。フローレンスです。ふくとパンをもってきました。」

ドアの外(そと)から声(こゑ)をかけました。